



門高通信

～平成 29 年度第 1 1 号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ:<http://www.ishikawa-c.ed.jp/~monzeh/>

メールアドレス:monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp



門前高校オリジナルタオル販売!



3年生キャリアコース商業系の生徒が授業の一環で今年度「門前高校オリジナルタオル」を制作しました。9月から少しずつデザインを考え、全員で試行錯誤しながら門前高校らしいタオルを作ることができました。

完成したタオルは左の写真のとおりです。薄いグリーンをベースに黒色で学校名と校章を表記しました。値段は1本500円です。

My箸づくり!



2月8日(木)、3年生が「ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業」の一環で「輪島工房長屋」様にて「My箸づくり」を行いました。初めての体験に悪戦苦闘する生徒たちでしたが、無事に箸が完成すると満足そうな笑顔を浮かべていました。

＜生徒の感想＞

彫る前、手本を見たときは「すごい」とか「きれい」とか、簡単な感想しか思い付きませんでした。実際に彫ってみると、ガツガツになるし、紙に何か描くのとは違って、力もいるし、曲線は描けないし、箸は小さくて彫りにくいし、「これをこうしてこういうのを作ろう」と思っても、全く上手くいきませんでした。あれ?おかしいな?と思って手本を見ると、細部まで丁寧に塗ってあって、一つ一つの彫ってあるものの輪郭がしっかりしていて、職人さんはやっぱり違うなと、お手本の箸のどこをとっても自分が作ったものより秀でているところから感じました。

今日この体験を通して「見ただけなのと、実際にやってみるのでは大きく違うこともある」と分かりました。見ているだけではわからなかったことが、自分の目で、手ですると、初めて分かることがたくさんありました。今後、見ているだけでは分からない「他人の努力や苦勞」(学校の事務員さんの雪かきとか)を敬ったり、自分が誰かのために頑張れる人になりたいです。

ライフデザイン講座



2月16日(金)、2年生を対象にライフデザイン講座が行われました。金沢大学教授の大友信秀先生を講師に迎え、「30年後も楽しむために!」というテーマで、先生のこれまでの経験を交えながら「①何でもいいので1つのことを極める②いろんな経験をすることで好きなこと・やれることが見えてくる③いろいろな人を巻き込んで物事を進めることができる能力を養う④能登で暮らしていくには起業できる能力が必要⑤何事でも“できる”と思ってやっていくことが大切⑥チャンスはいきなりやってくるのでチャンスをつかめるように日頃から準備しておく」などについてお話しされました。

ふるさとに未来の種を蒔こう 石川県立門前高等学校

2月7日(水)、12Hの生徒9名が、七尾特別支援学校輪島分校の高等部の生徒6名と一緒にパン作りを行いました。これは「産業社会と人間」という授業の中で商品開発について考える取り組みとして実習しました。生徒たちは商品を作る上で注意することについて意見を出し合うとともに、おいしそうに見えるように、パンの形や飾りつけを思い思いに工夫していました。

また、15日(木)には22Hの社会福祉系の生徒6名が門前中学校1年生16名と家庭科の交流授業を行いました。門前町で生産されているブランド豚肉「αのめぐみ」でしょうが焼きを、門前高校で育てた大根で切り干し大根を作りました。生徒たちは学習サポーターとなり、食材の栄養について発表しました。



七尾特別支援学校輪島分校、
門前中学校との交流授業



図書館講座



1月18日(木)の放課後、視聴覚室で図書館講座を行いました。講師は、国語科の峪光司先生です。生徒・職員合わせて約60人が参加しました。普段の授業とは一味違った峪先生のお話を聞き、『本』ならではの良さを学ぶことができました。

3月 行事予定

- 1~2日 学年末考査(1・2年)
- 2日 教育振興会
PTA 雪割草発行
- 3日 卒業式
生徒会誌発行
- 6~7日 一般入試
- 19日 学校評議員・評価者
委員会
安全点検
- 22日 入学説明会
- 23日 終業式
- 26~28日 春季補習(1・2年)
ソフトボール兼六杯
- 30日 新入生制服引き渡し

ね。」語りかけているようです。

さて、三年生はいよいよ卒業の日を迎えます。三年間、毎日喜んだり苦しんだり、また悩んだりしながらこの参道を通ったことでしょう。白壁は毎日、そんな生徒の思いを受け止め、無言で応援していました。卒業しても、保護者や先生方、地域の方々、そしてこの白壁に見守られていたことを忘れないで下さい。きっと卒業生の皆さんの将来も見つめているはずですよ。

本校に來校される方の多くは、参道前の塀を見て「素晴らしい白壁ですね」との感想を述べます。確かに、県立学校の敷地が、このように綺麗な白壁に囲まれている例はあまりありません。かつての金沢大学は「城の中の大学」でしたが、本校はまさに「白壁の中の高校」なのです。

この白壁は、平成十五年に総持寺周辺の整備事業の一環として設置されました。以来、震災や風雪に耐えながら悠然と佇む姿は、私たちに安心感と安らぎを与えています。

さらにこの塀は、総持寺を訪れる観光客を迎えるだけでなく、本校生徒の活動もずっと見守っています。「この泰然とした空気が、学習や諸活動への取り組みを後押ししているようにも見えます。また、本校では毎週水曜日に参道清掃を、降雪時には除雪作業を行っています。白壁は、その生徒の姿を見ながら、「ご苦労さん。きれいにしてくれてありがとう。勉強も部活も頑張っているね。」と語りかけているようです。

見守り

長田 弥十雄